



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 荒田 知  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 コーポレート統括本部長 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	35,972	27.9	2,416	106.1	2,695	94.4	1,708	104.8
2022年3月期第3四半期	28,131	6.1	1,172	△11.9	1,386	△7.0	834	△11.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,128百万円 (48.5%) 2022年3月期第3四半期 1,433百万円 (△5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 76.73	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	37.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	63,532	45,182	70.8	2,059.78
2022年3月期	61,922	45,592	73.3	2,028.44

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,970百万円 2022年3月期 45,378百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	42.00	60.00
2023年3月期	—	24.00	—		
2023年3月期（予想）				45.00	69.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当22円 記念配当2円  
 " (予想)期末配当金の内訳 普通配当43円 記念配当2円

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	24.2	4,000	103.2	4,350	87.3	2,900	52.2	129.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	23,781,394株	2022年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,948,930株	2022年3月期	1,410,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	22,264,390株	2022年3月期3Q	22,480,482株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの事業環境につきましては、社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクス及び自動車関連の投資が好調に推移し、主に5G・IoT、自動運転・電動化に関する市場において需要が継続いたしました。生産面におきましては、部品調達難への対応として引き続き戦略的在庫の積み増しや代替調達、設計変更などあらゆる対策に取り組み、生産量の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は前年同四半期比で21.7%増加し、過去最高となる47,153百万円となりました。売上高につきましても、前年同四半期比で27.9%増加し過去最高となる35,972百万円となりました。利益面につきましては、部材価格及び電気代の高騰、受注拡大に伴う販管費増加の影響を受けましたが、増収により営業利益は前年同四半期比で106.1%増加し2,416百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比で104.8%増加し1,708百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2022年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	増減率(%)
受注高	38,752	47,153	21.7
売上高	28,131	35,972	27.9
営業利益	1,172	2,416	106.1
経常利益	1,386	2,695	94.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	834	1,708	104.8

セグメント別の経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)
装置事業	41,031	30,866	2,329
サービス事業	5,216	4,672	185
その他事業	1,148	656	△96
連結消去	△243	△222	△0
計	47,153	35,972	2,416

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに受注高・売上高は前年同四半期比で増加いたしました。海外市場においても受注は好調に推移し、売上高は中国、北米、欧州、東南アジア、韓国において前年同四半期を上回りました。

エナジーデバイス装置につきましては、自動車の電動化に向けた投資拡大により主に国内において充放電試験用チャンバーが好調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、顧客の計画の遅れにより、受注高は前年同四半期並みとなったものの売上高は前年同四半期比で減少いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期比で受注高は24.3%増加し41,031百万円、売上高は32.8%増加し30,866百万円となりました。利益面につきましては、主に売上高の増加により営業利益は前年同四半期比で144.9%増加し、2,329百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2022年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2023年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	33,007	41,031	24.3
売上高	23,237	30,866	32.8
営業利益	951	2,329	144.9

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、車載用バッテリーを中心に受託試験が堅調に推移し、受注高は前年同四半期並みとなり、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は4.5%増加し5,216百万円、売上高は4.5%増加し4,672百万円となりました。利益面につきましては、受託試験において電気代高騰の影響を受けるとともに、新しいアフターサービスの運用費などにより販管費が増加し、営業利益は前年同四半期比で40.6%減少し、185百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2022年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2023年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	4,993	5,216	4.5
売上高	4,472	4,672	4.5
営業利益	311	185	△40.6

<その他事業>

環境保全事業及び植物育成装置事業を中心とするその他事業では、森づくりや水辺づくりは低調に推移いたしましたが、植物研究用装置や植物工場の受注高は前年同四半期を上回りました。こうした結果、前年同四半期比で受注高は20.1%増加し1,148百万円、売上高は7.3%増加し656百万円となりましたが、96百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2022年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2023年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	956	1,148	20.1
売上高	612	656	7.3
営業損失(△)	△89	△96	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は63,532百万円で、前連結会計年度末と比べ1,610百万円の増加となりました。その主な要因は、受注残高の増加に伴う仕掛品などの棚卸資産の増加3,236百万円、現金化に伴う有価証券の減少1,999百万円、売上債権の減少及び有価証券の現金化に伴う現金及び預金の増加934百万円、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権）の回収による減少639百万円などによるものであります。また、負債は18,350百万円で前連結会計年度末と比べ2,020百万円の増加となりました。その主な要因は、受注増加に伴う契約負債等その他流動負債の増加1,378百万円、受注増加に伴い仕入高が増加したことに伴う仕入債務（支払手形及び買掛金並びに電子記録債務）の増加1,077百万円、賞与引当金の減少308百万円などによるものであります。純資産は45,182百万円で前連結会計年度末と比べ409百万円の減少となりました。その主な要因は、自己株式の取得等による自己株式増加による減少1,043百万円、当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が1,708百万円計上された一方、配当金として1,488百万円が利益処分されたこと等による利益剰余金の増加213百万円、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加375百万円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、2022年10月28日に発表した予想数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,254	14,189
受取手形、売掛金及び契約資産	13,595	12,237
電子記録債権	2,607	3,325
有価証券	2,902	902
商品及び製品	2,036	2,486
仕掛品	2,805	4,931
原材料及び貯蔵品	3,670	4,330
その他	2,236	2,260
貸倒引当金	△30	△36
流動資産合計	43,076	44,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,915	5,021
土地	4,632	4,660
その他（純額）	2,840	2,713
有形固定資産合計	12,388	12,395
無形固定資産		
のれん	698	630
その他	586	579
無形固定資産合計	1,284	1,210
投資その他の資産	5,172	5,300
固定資産合計	18,845	18,906
資産合計	61,922	63,532
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,478	3,939
電子記録債務	3,817	4,434
短期借入金	82	89
未払法人税等	428	414
賞与引当金	487	178
役員賞与引当金	10	—
役員株式給付引当金	82	—
製品保証引当金	178	211
受注損失引当金	16	13
その他	4,953	6,332
流動負債合計	13,537	15,613
固定負債		
長期借入金	269	224
退職給付に係る負債	245	235
役員株式給付引当金	93	120
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	22	23
その他	2,157	2,128
固定負債合計	2,792	2,736
負債合計	16,330	18,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120
利益剰余金	31,836	32,050
自己株式	△2,236	△3,280
株主資本合計	43,616	42,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,109	1,158
土地再評価差額金	△663	△663
為替換算調整勘定	1,294	1,669
退職給付に係る調整累計額	21	18
その他の包括利益累計額合計	1,762	2,183
非支配株主持分	213	211
純資産合計	45,592	45,182
負債純資産合計	61,922	63,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	28,131	35,972
売上原価	18,337	23,627
売上総利益	9,794	12,345
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,800	3,217
賞与引当金繰入額	48	51
役員株式給付引当金繰入額	17	27
製品保証引当金繰入額	86	101
貸倒引当金繰入額	14	8
のれん償却額	71	93
その他	5,582	6,428
販売費及び一般管理費合計	8,621	9,929
営業利益	1,172	2,416
営業外収益		
受取利息	37	12
受取配当金	95	128
補助金収入	1	68
為替差益	73	45
その他	59	61
営業外収益合計	266	316
営業外費用		
支払利息	30	26
支払手数料	6	6
その他	15	4
営業外費用合計	52	37
経常利益	1,386	2,695
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	35	—
特別利益合計	37	1
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	7	4
特別損失合計	7	10
税金等調整前四半期純利益	1,416	2,686
法人税、住民税及び事業税	581	979
四半期純利益	834	1,706
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	1,708

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	834	1,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	49
為替換算調整勘定	540	375
退職給付に係る調整額	0	△3
その他の包括利益合計	599	421
四半期包括利益	1,433	2,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,433	2,129
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,223	4,299	609	28,131	—	28,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	172	3	190	△190	—
計	23,237	4,472	612	28,322	△190	28,131
セグメント利益又は損失(△)	951	311	△89	1,172	△0	1,172

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「装置事業」セグメントにおいて、エスペックサーマルテックシステム株式会社の発行済株式の80%を取得し、連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては444百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	30,849	4,472	650	35,972	—	35,972
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	199	6	222	△222	—
計	30,866	4,672	656	36,195	△222	35,972
セグメント利益又は損失（△）	2,329	185	△96	2,417	△0	2,416

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。